

I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立弘前第二養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input checked="" type="checkbox"/> その他（長期欠席生徒への支援）		
	単元（題材）名	学校教育全般		
	単元（題材）の目標	学校の様子を発信する。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	中学	部	1 年 1 人
	本単元（題材）における学習集団の主な実態	現在、長期入院による治療中の生徒である。四肢けいれん麻痺、体幹に強い緊張があり、重度知的障害を併せ有する。慣れた人に話しかけられたときや「終わります」「帰る」という言葉を聞いたときなどに声を出して笑うなど、他者を意識する様子が見られる。		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad		
	使用したアプリケーションの名称	Google ドライブ FaceTime		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input type="checkbox"/> 学習支援 (<input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T 活用のねらい	令和2年12月より病気治療のため、長期入院している生徒に学校の様子を動画や写真で発信している。また、保護者の不安に寄り添いながら、学校の様子を動画で伝えていくことで、孤立感を軽減し、学校全体で支援していることを伝えていく。		
活用の状況と支援	令和2～3年度は、受信側を保護者のスマートフォン、令和4年度からは iPad を使用して行っている。 令和3年度は、学校の様子を伝えるために1ヶ月2～4本程度の動画や写真の発信を行った。本生徒の卒業に合わせて令和3年度の卒業式、令和4年度の入学式を FaceTime で中継した。同様に運動会中継も計画したが、当日不具合が発生し、中継することができなかった。 離れた場所においても、定期的にデータをやりとりすることで、本生徒及び保護者が学校とつながっている実感をもつことができているようで、卒業式の際は所属学級の生徒・保護者たちと画面越しに徐々に会話したことで、発語のない本生徒だが満面の笑顔を浮かべ、つながる喜びを表現していた。			